

水谷

(女子ジュニア
松山学院高)

2冠達成

全日本自転車

男子 金井も頂点

自転車トラック種目の全日本選手権第3日と最終日は14、15の両日、静岡県伊豆市の伊豆ペロドロームで行われ、愛媛勢は女子ジュニアの水谷彩奈(松山学院高)がポイントレースとスクラッチで2冠を達成した。男子ジュニアの金井健翔(松山学院高)はポイントレースで優勝。垣田真

穂(Team Rakuten K Drama)は女子スクラッチなど4種目で2位に入った。ケイリンの女子は昨年の世界選手権2位の佐藤水菜(日本競輪選手会)が2連覇を果たし、男子は太田海也(日本競輪選手会)が初制覇した。佐藤は女子5

00分タイムトライアルも日本新となる34秒467で2連覇。東京五輪女子オムニアム銀メダルの梶原悠未(Team Yumi)がポイントレースを制し、5冠に輝いた。力ためて勝負した松山学院高・水谷(女子ジュニアで2冠)「出場した4種目全て

で勝ちたかったが、二つ取れてうれしい。ポイントレースは最終周が勝負と思い、力をためていた。自分でレースを動かして勝てるようになっていたい」

最後も踏み切れた

松山学院高・金井(男子ジュニアポイントレースで優勝)「全国選抜大会で勝っていたので、このタイトルも欲しかった。前半から動いて脚を使う展開だったが、最後まで踏み切れた。インターバル練習が生かせた」